

大津湖南都市計画駐車場の変更（湖南省決定）

三雲駅北口自転車駐車場

三雲駅南口自転車駐車場

<自転車駐車場計画>

(1) 駐輪場必要台数設定

・北口自転車駐車場計画

三雲駅周辺の駐輪場需要に基づく駐輪台数は下図のとおりである。

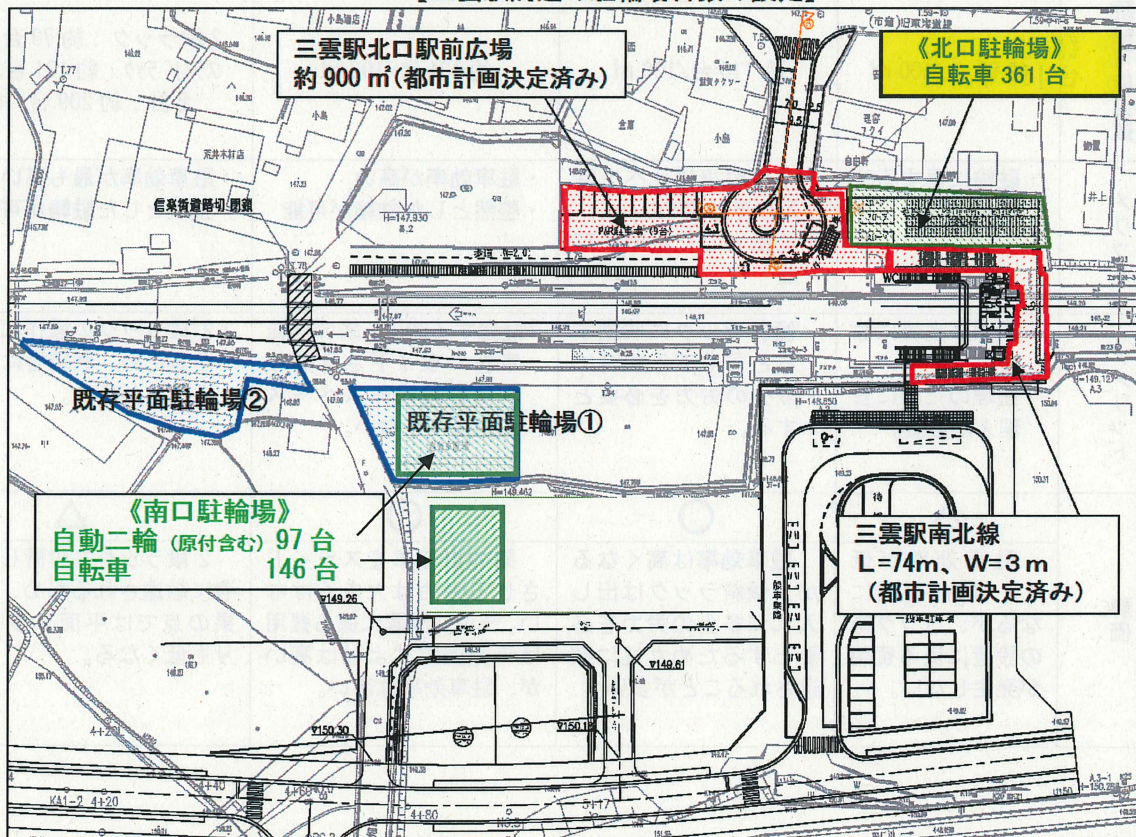
北口における駐輪場需要は推計の結果 361 台であり、基本的に北口駐輪場にすべて収容するものとする。

・南口自転車駐車場計画

三雲駅周辺の駐輪場需要に基づく駐輪・駐車台数は下図のとおりである。

南口における駐輪場需要推計台数の内訳は、自転車 146 台、自動二輪車（原動機付自転車を含む）は、97 台である。

【三雲駅周辺の駐輪場台数の設定】



(2) 駐輪方式の比較

駐輪方式については、平面駐車、平面固定・傾斜式、平面スライド式、2段ラック方式（スライド式併用）が考えられ、それぞれの特徴を以下に示す。

利用者の利便性を考慮すると、平面駐車が最も優れているが、駐輪場のスペース等の問題から、平面スライド式を基本とする。

	平面駐車	駐車ラック方式		2段ラック方式 (スライド式併用)
		平面固定・傾斜式	平面スライド式	
駐輪方式	・所定の場所に利用者が自転車を駐車させる方式で、従来の駐輪場の駐車方式	・ラックによって利用者が整然と駐車することができ、ラックに傾斜を付けることによって収納効率を高める方式	・ラックによって利用者が整然と駐車することができ、ラックをスライドさせることによって収納効率を高める方式	・平面駐輪の上部空間を活用した駐輪システムで、下部をスライド式ラックと併用することで収納効率を更にUPさせた方式
駐輪イメージ				
駐輪間隔	60 cm	30 cm	20 cm (スライド部分を含めて25~28 cm)	2段ラック：45 cm 下部スライドラック：20 cm
駐輪可能台数	約 55 台/100 m ²	約 110 台/100 m ²	約 131 台/100 m ²	2段ラック：約 78 台/100 m ² スライドラック：約 131 台/100 m ² 合計：約 209 台/100 m ²
メリット	・駐輪に要する時間が短い	・平面駐車に比べて駐車効率は高い ・整然とした駐輪が可能	・駐車効率が低い ・整然とした駐輪が可能	・駐車効率が最も高い ・整然とした駐輪が可能
デメリット	・収納が乱雑になる。 ・整理のために管理人が必要。	・傾斜ラックに収納するときや下ろすときに多少の労力を必要とする。	・駐輪する時に、隣の自転車をスライドさせなければ駐輪操作スペースが確保できない。	・2段ラックの操作に時間がかかるため、利用者に敬遠されることが多い。
評価	△	○	○	△
	駐車効率が低く、収納が乱雑になるが、ラック等の設置に係る費用が発生しない。	駐車効率は高くなるが、傾斜ラックは出し入れに多少の労力を必要とするため女性に敬遠されることが多い。	隣の自転車をスライドさせる労力は大きくはない。ラック設置に係る費用は平面固定式よりは高いが、駐車効率は高い。	2段ラックを設置しても利用者に敬遠されるため、対費用効果の点では平面スライド式よりも低くなる。

(3) 駐輪場の規模の設定

・北口自転車駐車場計画

駐輪場を計画するにあたり、平屋建てから 3 階建てまでの建物形態についてメリット・デメリット等を検討した結果は下表のとおりである。

【駐輪場の形態の検討】

形態	平屋建て	総 2 階建て	総 3 階建て
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・2 階への移動がなく、利用者の利便性が最も高い。 ・日照やプライバシーの確保の面で隣家への影響が少ない。 ・経済的に優れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2 階建てという不便さはあるものの、斜路を設置することによって使いやすい駐輪場となる可能性が高い。 ・部分的に 3 階建てにし、自由通路と直接連絡することも可能である。 ・2 段式ラックが比較的少なく、平屋建てより利便性が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平面式で 361 台の収容が可能となり、ゆとりのある駐輪場となる。 ・自由通路と直接連絡することが可能になる。 ・2 段式ラックはなくなり、利便性は高い。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地に制約があるため、2 段式ラックが多くなり利用者に不便を感じさせる。 ・朝のピーク時の 2 段式ラックは非常に不便である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2 階部分利用者の駅舎利用利便性確保のために自由通路との連絡方法を検討する必要がある。 ・隣家への日照やプライバシーの確保の面で配慮が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3 階の駐輪場利用は利用者が少なくなる。 ・隣家への日照やプライバシーの確保の面で影響が極めて大きい。 ・経済的に劣る。
評価	○	○	×
	<ul style="list-style-type: none"> ・2 段式ラックを全面的に導入することから狭く感じられる可能性はあるが、利用利便性が高いことから検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣家への影響や 2 階に上がる必要があるが、比較的余裕があり利便性の高い駐輪場となる。但し、隣家への配慮も含めて検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済性に劣り、さらに建築基準法上は問題がないが、隣家への影響が極めて大きく、公共施設として適切な形態ではない。

・南口自転車駐車場計画

駐輪場を計画するにあたり、平屋建てと2階建ての建物形態についてメリット・デメリット等を検討した結果は下表のとおりである。

【駐輪場の形態の検討】

形態	平屋建て	総2階建て
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・上階への移動がなく、利用者の利便性が最も高い。 ・経済的に優れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物高さがある分、遠くから駐輪施設として認識し易くなる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・平屋建ての平面的な広がり為、建物内の平面移動量が多くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2階利用の場合、2階へ上がり階段で1階に降りる動作は、利用者の負担が大きい。 ・建物高さが有る為、周辺環境への配慮が必要となる。 ・2階床の発生、斜路、階段の設置する分、建設コストは高くなる。
評価	○	△
	<ul style="list-style-type: none"> ・1階で完結する為、平面な移動量が多くなるが、利用者の利便性は高い。 ・建設コストの面でも優れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2階へ上がる斜路の設定、1階に降りる階段の設置が必要であり、利用者の負担は高い。 ・敷地周辺には高い建物もない為、景観形成の観点からも特別の配慮が必要。 ・建設コストは、高くなる。